

教育委員会だより

河北地区生涯学習 炭の窯出し終える

5月9日（水）、河北地区生涯学習（原 真志雄議長）は、昨年11月に入れた炭の窯出し作業を行いました。

炭窯が出来上がってから、15年経過し、窯の傷み等もあつて、上質の炭になっているかどうか心配されましたが、予想より多い、約三百キロの炭を得ることができました。

今後、金子鶴雄さんを中心として、窯の補修を行い、5月末には今年度1回目の炭入れが予定されています。

炭に使われる原木は、ブナ、ナラ、イタヤが主で昼夜を問わない作業は、「夏場の時期は暑くて大変な作業だ」と言っていました。年3回、炭焼きを行い、内1回は河北小学校の児童が窯出しの作業を見学する予定です。出来上がった炭は、河北

小学校に保管され、希望者には6キロ入り、千円で販売しています。



炭の袋詰め作業

滝沢地区生涯学習 地引き網体験開催！

5月19日（土）、滝沢地区生涯学習推進会議（太田孝任議長）は、大安在の浜で、恒例の地引き網体験を実施しました。

滝沢小学校の児童、学校関係者、保護者など百名近い参加があり、3年連続の地引き網を満喫しました。午前中は、多少肌寒さを感じましたが、太田議長は参加した児童らに「海の楽しさを十分味わって下さ

い」と挨拶したあと、地元漁師さんたちが準備してくれた網を、海の香りを肌で感じながら、力強く引つ張り上げました。網の中にはヒラメ、ソイ、エイ、たこなどがかり、思わぬ大漁に歓声を上げ、参加した児童は「網を引つ張って、魚が見えた時、楽しかった」と感想を述べていました。獲った魚は、お母さんたちの手で調理され、皆さんに振る舞われました。昼食にすり身汁を食べながら楽しいひとときを過ごしました。



一生懸命引つ張りしました



みんなて記念撮影

旧笹浪家住宅に さまざまな来館者が

5月11日（金）に江差小学校4年生39名が春の遠足で旧笹浪家住宅を訪問しました。

上ノ国駅から歩いて笹浪家を訪れ、途中花沢公園の桜を見学しながらの行程となりました。

笹浪家に到着してからは3班に分かれて、床のずうきんがけ、メンコやおはじき、お手玉など昔の遊び、イロリの火入れ、字中須田の金子鶴雄さんが講師となつたわらじ編みづくりをそれぞれ順番に体験しました。

普段あまり接することのない体験に子どもたちは喜んでいました。



みんなてぞうきんがけ



わらじづくり体験も

この日は岐阜県からのツアーで「歴史散歩の会」43名も笹浪家に来館しました。岐阜県は円空仏を作つた円空上人の生まれ故郷ということもあり、参加された皆さんは展示されている円空仏に手を合わせ感謝の気持ちを述べていました。また昔ながらの家のたたずまいに関心を寄せていました。



円空仏を見学

